

Construction ケミカル Chemicals

vol. 2
2010.4

Construction ケミカル Chemicals

vol. 2
2010.4

2010年4月1日 株式会社ダイフレックスと恒和化学工業株式会社は事業統合いたしました。
恒和化学工業株式会社の販売部門は、恒和化学事業部として名称を変え、
恒和化学工業株式会社は製造会社としてダイヤブランド共ども存続いたします。

2010年4月19日 本社・本社営業グループ・多摩営業所のフロアーが、
新宿NSビル23階から25階に移転いたしました。(電話・FAX番号に変更はございません。)

ダイフレックス・恒和化学工業 事業統合
p.1-2 構造物に対する
総合的な提案力を強化します

p.3-6 ダイフレックス・恒和化学工業の
製品・工法紹介

p.7-10 スーパーセララン / UI-シールドα
製品特集 セミナーのご案内

販売・開発・製造部門

<http://www.dyflex.co.jp>



株式会社 **ダイフレックス**

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
TEL.03-5381-1555(代) FAX.03-5381-1566

	TEL	FAX
本社営業グループ	03-5381-0231	03-5381-0232
大阪支店	06-6292-0511	06-6292-0522
札幌営業所	011-804-5961	011-804-5977
仙台営業所	022-788-1262	022-236-5832
新潟営業所	025-279-3061	025-279-3065
北関東営業所	0285-24-4077	0285-24-4076
さいたま営業所	048-646-4870	048-646-4871
千葉営業所	047-436-1581	047-436-1584
多摩営業所	03-5381-0883	03-5381-0232
横浜営業所	045-290-9751	045-290-9755
名古屋営業所	052-735-3991	052-735-3992
広島営業所	082-234-3783	082-234-3781
福岡営業所	092-432-9220	092-432-9221

恒和化学事業部		
TEL	FAX	
本社営業グループ	03-5322-8301	03-5322-8302
大阪支店	06-4802-2711	06-4802-2712
札幌営業所	011-708-7651	011-737-5966
仙台営業所	022-232-7611	022-232-7615
新潟営業所	025-273-6151	025-271-8879
北関東営業所	0285-24-4077	0285-24-4076
さいたま営業所	048-646-4875	048-646-4871
千葉営業所	047-436-1558	047-436-1584
横浜営業所	045-290-9761	045-290-9755
名古屋営業所	052-745-1510	052-732-3110
広島営業所	082-297-1382	082-234-3751
福岡営業所	092-433-6500	092-433-6510

製造部門

<http://www.dia-kowa.co.jp>



恒和化学工業株式会社

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
TEL.03-5322-7020(代) FAX.03-5322-7021



株式会社 **ダイフレックス**



恒和化学工業株式会社

ダイフレックスと恒和化学工業の事業統合 構造物に対する総合的な提案力を強化 します

2010年4月
株式会社ダイフレックスと恒和化学工業株式会社は
事業統合いたしました。



2010年を迎え、建築土木をはじめとしたコンクリート構造物の耐久性がますます重要視され、長寿命化が望まれています。新設ではライフサイクルを考慮した設計、ストックに対してはよりサステナブル（持続可能）な改修（維持保全）方法が望まれています。

コンクリートを中心とした構造物の耐久性に大きな影響を与えるのが仕上げ材といえます。ダイフレックスグループでは、化学のチカラで構造物の価値を向上させようというコンセプト「コンストラクションケミカル」を掲げ、こうした時代のニーズに対応していこうとしています。

株式会社ダイフレックスは、さらなる「コンストラク

ションケミカル」の推進、総合的な提案力の強化をめざして、グループ会社の恒和化学工業株式会社と事業統合することといたしました。2007年に恒和化学工業がダイフレックスグループに参加して以来、両者は事業所の統合や研究所の統合を行い、「防水材&外装材」「有機&無機」など両者の代表的な分野や技術の融合に努めてまいりました。今回の統合により、防水材メーカーと外装材メーカーのコラボレーションから、コンストラクションケミカル企業として、他の仕上げ材メーカーではできない広い視点での提案により皆様の問題解決のお手伝いをさせて頂く所存です。

私たちが提供できる技術とは

私たちの製品の中心は、現場施工が可能な液状の樹脂製品です。このような樹脂製品は、その特性が構造物に対して有効に機能するために必要な接着性や納まりの確保が可能なため、単一製造品である建築や土木構造物にとって最適な性状といえます。ダイフレックスではウレタン防水材を中心に有機系製品、恒和化学工業ではアクリルなど有機系はもちろん無機系製品の開発を行っており、無機有機のハイブリッド化も両者で推進しております。

総じて私たちの開発テーマに共通するのは機能性です。防水を例に取れば屋上駐車場防水のように防水機能と同時に床機能を付与し、結果、工期短縮やメンテナンス性

の向上や軽量化といった付加価値を提供できるということです。機能性を付加するに当たっては、材料の組み合わせを行うなどの工法開発、また施工性向上や現場での品質確保のための施工機械の開発も積極的に行っております。

私たちが目指す価値向上とは、「省エネ」「環境改善」「維持・保全」「安全・快適」を構造物に付与することです。建築・土木、新築・改修といった分野で、屋上・内外壁・床・地下といった部位で価値向上につながる機能を提供していきます。



総合的な提案

お客様（施主・設計者・総合建設業・管理会社・専門工事業者）



ダイフレックス・恒和化学工業の製品・工法紹介①



私たちがコンストラクションケミカルのコンセプトのもと展開している製品・工法・分野についてご紹介いたします。

建築防水

一般屋上（フラットルーフ）

ウレタン防水材料の特長の代表的な事項は、液状材料を現場で塗布して防水層を形成することで、躯体等の下地形状に合わせた安全な納まりが可能になることです。

また、防水材料として伸びと強度が理想的な物性であるウレタン防水材料の特性を最大限に活かすため、様々な素材との複合化を行い屋上の使用目的の多様化に、新築・改修を問わず対応してきました。

■ 一般使用 設備設置～屋上運動場

改質アスファルトシート+ウレタン複合防水のDD工法をはじめ二液反応硬化ウレタンのDSカラーを用いた多彩な工法など、オフィスビル・学校・集合住宅など改修を中心に膨大な実績をつくっています。

2000年にはウレタン防水による工事中の環境負荷を低減する画期的な硬化形態である水硬化ウレタン（オータス・エコ/エコ・ウレックス）の上市により防水工事の環境対応化を牽引してきました。

高物性・高品質の超速硬化ウレタンによるバリューズ保険付工法群では最大30年（有償メンテナンスが条

件）の長期保証を行うなど建物の長寿命化への提案も行っていきます。



オフィスビル屋上



屋上運動場

■ 特殊使用 屋上駐車場・屋上緑化

20数年前では露出防水では困難とされていた屋上駐車場や屋上緑化下の防水についても、初期ではFRPを用い、現在ではポリウレタや高強度ウレタンを用いた複合防水で対応。軽量化を中心とした改修提案も商業施設を中心に行っています。（屋上駐車場防水：パワレックス工法 屋上緑化防水：グリーンプレイス工法）



屋上駐車場



屋上緑化

特殊形状・勾配屋根

超速硬化ウレタンエバークートSP-100はその名のとおり数十秒でゲル化が進み3分前後で固体になる特性があります。

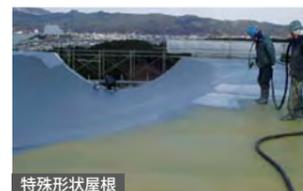


ドーム型屋根

競技場観客席のような複雑な形状に対しても必要な厚みの確保を容易に行え、シートやアスファルトでは実現が困難な形状にも対応。コンクリート勾配屋根を始め特殊な形状の屋根などデザインの広がりにも寄与しています。



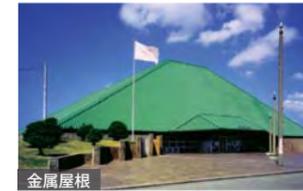
競技場観客席



特殊形状屋根

■ 金属屋根・スレート屋根

防水プラスαの効果을期待して前述の超速硬化ウレタンを金属・スレート等の屋根に施します。金属屋根では防錆を、スレート屋根では破損防止を塗料に比較して高いレベルで実現します。



金属屋根

露出防水非撤去改修

前述のDD工法は、通気緩衝工法のさきがけであり、公共建築工事共通仕様書のX-1工法のモデルとなりましたが、採用の多くが屋上防水がアスファルト防水押えコンクリート工法のかぶせ改修であります。改修の分野におけるダイフレックスの基本姿勢は極力既存防水を撤去しないことです。こうした発想から生まれたのが、通気緩衝シートを機械的固定した上に超速硬化ウレタンを施したランスロックス工法や、通気緩衝シートに粘着層を設けた自着シートを用いた工法です。露出アスファルトやシート防水の改修に対応し、ウレタン防水材料の特長を最大限に活かした展開をしています。さらにシングル・露出アスなどの既存防水に直接に近いかたちで吹付け可能な新しいタイプの超速硬化ウレタンも開発中です。（GETシステム）



戸建住宅

戸建住宅では木造を中心にFRPが多く採用されています。しかし、FRPで使用しているポリエステル臭気が問題視される傾向にあります。そこで、ダイフレックスではこの4月より新タイプの樹脂ウレタンアクリレートを用いたバルコートを本格展開します。従来のFRPに比べ一歩進んだ環境対応を実現します。



バルコニー

壁面

外装材

■ 外壁剥落防止

建物の定期調査報告制度の義務化に代表されるように、近年外装仕上げ材（タイル・石貼り・モルタル等）の劣化による剥落が問題視されており、ダイフレックスではその対応工法を用意しています。



タイル張り外壁

透明度の高い繊維混入アクリル樹脂とアンカーピンによるエバークードはタイル意匠を残し、ポリマーセメントと三軸メッシュおよびアンカーピンによるエフ・ネットタイルは意匠を塗材で一新して剥落を防止できます。モルタル塗り外壁に対応し、微弾性樹脂とガラス繊維ネットおよびアンカーピンによるエフ・ネットは、剥落防止層と仕上げ層を兼ねているため短工期が実現できます。

■ 超耐候・防汚・低汚染系外装材

建物の顔である外壁を美しく保つことは、塗料の機能として重要な位置付けとなります。水系光触媒コーティング材エコグレイスタンはタイル面や石材の汚れを紫外線で分解するとともに超親水化により雨水で汚れを流します。



無機質常温硬化コーティング材セラゼックスRVはシロキサン結合によりガラスのような緻密なコーティング層を形成しスプレーやマジックインキなどの落書きが簡単に除去できます。（除去剤は必要）

ライフサイクルコストの低減に寄与する超耐候・超低汚染塗料は変性無機フッ素・アクリルシリコン・アクリルウレタンのハイセラシリーズ、有機変性無機塗料スーパーセラシリーズと多種多様なタイプで対応しています。また、鉄部に対しての高耐久な防錆塗料シャスコートは長期保証を実現しています。

ダイフレックス・恒和化学工業の製品・工法紹介②

また、防水形弾性仕上材の**カイクウォール**は透湿性にも優れ、快適な居住空間をサポートします。



■省エネ系（遮熱・赤外線吸収）

省エネ法の改正に伴い注目を集めているのが遮熱分野です。外壁面は高反射塗料と中空ビーズ入り微弾性アクリル樹脂を



組み合わせた**ダイヤダンネツシステム**にて対応。そして、太陽からの熱線の影響を大きく受ける**窓ガラス**に対応するのは、**紫外線赤外線反射吸収コーティング剤U-シールドα**で近赤外線を50%カットするため、夏場の冷房電力負荷の低減が図れます。また、**ガラス用光触媒コーティング剤HDクリーン**を併せて施工すると防汚とセルフクリーニング性が向上し、メンテナンスコストが抑えられ更なる窓ガラスの価値向上が実現できます。

内部

内装

機能性を有する内装材としては、カニやエビ等の甲羅より得られる**天然高分子キトサン**を樹脂に**ハイブリッド**させた**キトサンコート**



で、優れたホルムアルデヒド吸着性と抗菌性を有し、快適で安全な室内空間を確保します。

床

塗り床材は**ウレタン系・エポキシ系のアイ・フロア**

シリーズをラインナップしています。中でも**水系ウレタン速硬化低臭耐熱床材アイ・フロアRS**は、床材選定が困難な熱水や薬品を使用する工場、厨房の改修に対応できます。また、**ハイソリッドタイプのウレタントップコートUR-9100**を塗布することでさらに耐摩耗性が向上します。



地下防水・土木関連

地下防水

構造物の耐久性向上に、建築・土木にわたって地下防水の役割が重要視されています。地下において防水の役割は、外からの水の浸入を防ぐこととピット等に蓄えた水を保つことが挙げられます。ダイフレックスは**地下外防水**で10年以上の実績をもつ、**超速硬化ウレタン**による高耐久でシームレスな防水層で対応しています。**CVスプレー**は**SMW連続壁**に対する**先施工**と**構造体への後施工**があり、セパレーター等の突起部にも柔軟かつ安全な納まりが可能です。また、**ケーソン工法**においても有効で、沈下に対応できる耐摩耗性とせん断接着力を有しています。



蓄熱槽では躯体の健全性の維持とコスト損失を防ぐために、確実な防水と断熱が要求されます。**蓄熱槽断熱防水サーモストック工法**は専用の断熱材（スチレンフォーム）と高耐久な超速硬化ウレタンの構成で、非破壊による水密性&膜厚検査により、高精度な断熱防水層を形成します。



上下水道施設ライニング

上下水道施設において、貯めた水を保つことと器となるコンクリートの防食は、同時に果たさなければならない**ライニング**材の機能です。**ポリウレタ樹脂**を用いた**レジテクトBT工法**は優れた耐薬・耐水性に加え、ひび割れ追従に対応する伸びと強度を有した理想的なライニング材です。



道路関係

高架橋や橋脚、トンネルにおいて、融雪剤や塩分の浸透により鉄筋の腐食・発錆から起こるコンクリート片・塊の剥落を防止する取り組みが進んでいます。**レジテクトRT工法**は**超速硬化ウレタン**の遮塩性と強度（コンクリートへの強密着性）が、塩害や中性化からコンクリートを保護します。また、強い抗張力は繊維非挿入でも優れた押抜強度を発揮し、東・中・西日本高速道路株式会社「はく落防止の耐久性試験」に合格する性能を有しています。



また、**無機質常温硬化形コーティング材セラゼックス**はトンネル内部の内装材料として視線誘導の維持に必要な耐久性と汚染除去性を有し、タイルやパネルに比較し経済性・施工性・補修性から見て最適です。



橋梁等の床版の疲労耐久性を確保するため、床版防水の重要性が認識されています。この分野でも**超速硬化ウレタン**の特性を活かした高機能床版防水システムで対応。**レジテクトWG工法**は「日本道路公団試験研究所 防水施工設計・施工マニュアル（案）性能水準II-1」に合格して



います。超速硬化ウレタンはその他、法面の保護・岩盤ライニング・開水路表面ライニングなど、新たな分野での用途開発が進められております。



コンクリート断面修復

コンクリート構造物のメンテナンスを目的に**ポリマーセメント系**の断面修復材をラインナップ。速硬化タイプで厚塗り可能な**セメンシャス#5500**、耐酸性モルタルの**セメンシャス#80**、軽量で超厚塗りが可能なスチレンビーズ混入の**リマモル#70**、作業性が向上する1材タイプの**CEM#40N**など、さまざまなシーンに対応します。



ご紹介した各製品・工法のカタログを差し上げます



同封のFAX送信票に各製品・工法名をご記入の上、ご返信ください。
または本誌裏面表記の各営業所まで直接お申し付けください。
なお、HP上でもご覧いただけます。
(一部ご確認いただけない製品もございます。)

営業窓口代表連絡先

TEL 03-5381-1555 FAX 03-5381-1566

ロングライフシステム **ダイヤスーパーセラ** 長寿命 + 美観保持

通常、アクリルシリコン樹脂塗料の寿命は10年から長くても15年と考えられています。100年、200年のロングライフ住宅が目立っている昨今、同時にコスト低減や節約が大前提となっている現在において、長寿命かつ高耐久な塗料が求められているのは事実です。

そもそも塗料が寿命を迎えるメカニズムとはなんでしょうか？ 外装用塗料について考えてみましょう。

まず塗料の樹脂が年月の経過と共に劣化を始めます。紫外線によって光沢を失い汚れが目立ち始め、塗膜の表面劣化(チョーキング)が発生します。さらに劣化が進むと膜厚が低下し、進行すると躯体が露出し始めます。さらされた

躯体には容赦なく劣化の波(雨などの水・炭酸ガス・酸性ガス・塩素イオン)が押し寄せます。

また、塗膜が付着力を失ったために起きる、浮き、割れやはがれの現象もあります。素地と下塗りの間、あるいは下塗りと上塗り間の付着強度が低下したことによっておこる現象のことです。

こうなってしまうと大変。建物の本体にもダメージが生じ建築物そのものの資産価値に悪影響を及ぼしてしまいます。

樹脂が劣化する要因は前述のように、主に紫外線や降雨などの地球環境から受ける影響が中心です。今までこれらの要因に対抗し得る機能を持った塗料はフッ素樹脂塗料が最高品質とされてきました。

長寿命、そしてずっと美しい…そんな建物が求められています。

《塗替えに関する皆さんの本音》

超高層マンション (マンションの住民)



なかなか足場が取れなくて困っています。高層マンションなので工事開始から作業終了まで1ヶ月~2ヶ月もかかるみたい。洗濯も十分に干せませんし、外の景色も見えません。

ガスタンク (ガスタンク会社)



タンクは複雑な形状なため、施工しにくいので塗り替えの回数は少ない方がいいなあ…。耐候性も求められますし、安全でいい材料はないかなー。

スタジアム (オーナー)



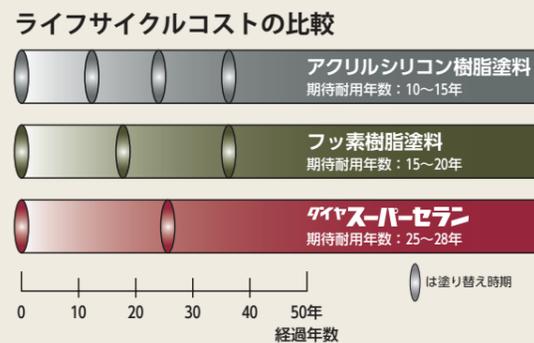
できるだけ修繕費を抑えたいです。しかし、これだけ鮮やかな色を保つには頻繁な塗り替えが必要なのでしょうか。

塗り替え回数を減らしてライフサイクルコストを低減します。

スーパーセラはフッ素樹脂塗料を上回る長期耐候性と、優れた環境適合性を有した次世代塗料です。

アクリルシリコン塗料の耐用年数10~15年、それを上回るフッ素樹脂塗料は同15~20年であるのに対し、弊社のスーパーセラは同25~28年躯体を守り続けることができます。耐用年数が増えることで塗り替え回数が減り、しいてはコスト削減にもつながるので、環境負荷の低減にも貢献します。

●建物の寿命を50年とした場合。
●期待耐用年数は標準的な耐用年数。試験結果を基に算出、相対的に比較したものです。(スーパーセラについては当社の技術見解)
塗り替え周期はあくまで目安であり、建物の立地条件や形状によって異なります。



スーパーセラの長寿命のワケ それは、無機と有機のハイブリッド効果にあります。

スーパーセラは無機塗料に有機の柔軟性を付加した塗料です。硬質で耐候性に優れ、豊富な天然資源が原料である無機塗料は一見万能材料のようにも感じますが欠点もあります。外装用とした場合、下地との追従性が必要であり、また、雨などの自然環境にも打ち勝たなければなりません。

そうでなければ、長期にわたり性能を維持することはできません。そこで生み出されたスーパーセラは、無機塗料の長所を保持しつつ、耐亀裂性や耐アルカリ性を持つ有機がその欠点を補うことで、長寿命、かつ美観保持を実現した業界初の変性無機塗料なのです。

無機	ダイヤスーパーセラの特性	有機
たわまない	耐衝撃性のある硬い塗膜が得られます	比較的たわむ
非常に脆い	割れにくく、ひび割れしません	割れにくい
艶がない	艶があり、光沢性があります	比較的艶がある
色がくすむ	鮮やかな色の調色が可能	鮮やかな色も出せる
硬い	下地に対応できる柔軟性とガラス並みの硬度	柔らかい
劣化しにくい	紫外線に強く従来のフッ素樹脂塗料よりも耐候性に優れる	劣化しやすい
汚れにくい	汚れにくく、長期間美しさを維持する	汚れやすい
燃えない	燃えにくい	燃えやすい
環境に優しい	無機成分が豊富で環境にやさしい	環境への負荷あり
土や石が主成分	大量に含まれる珪石が発原料のため、石油原料への依存度が少ない	石油が主成分

だからずっと美しい。

紫外線劣化に強い無機の特長と柔軟性があるために下地追従性に優れた有機の特長、さらにシリコン塗料やフッ素樹脂塗料では難しいとされている塗り重ねの問題もクリアしたスーパーセラ。無機と有機のハイブリッド効果は、いつまでも建物を美しく保つための条件を十分満たしています。また、スーパーセラは豊富な天然資源が原料です。

有機結合材は石油を出発原料としており、その石油資源はいずれ枯渇するといわれています。それに対して、スーパーセラの主結合材であるオルガノポリシロキサンは地殻中に多く存在する珪石が発原料ですから、豊富な資源の進化型塗料なのです。

窓ガラス用紫外線赤外線
反射吸収コーティング剤

UI-シールド^{アルファ}α

平成21年4月施行（一部平成22年4月施行）の改正省エネ法では、一層の地球温暖化対策の推進のため、省エネルギー対策の強化が求められています。特に増加傾向にある業務その他部門、家庭部門のエネルギー起源CO₂の排出削減を強力に進め、企業全体でのエネルギー使用量の把握や中長期的なエネルギー使用の低減措置に努める必要があります。また、建築物においても一定規模の建物において省エネ措置の報告が義務付けられています。

窓ガラスからの太陽光線の侵入熱エネルギーを大幅にカットし、
夏場の冷房電力負荷の低減を図りませんか？

UI-シールドαが、太陽光線から人と、人を取り巻く環境を守ります。

近赤外線50%カット

冷房の効率向上により、
空調コストを削減

可視光線透過率約80%

窓からの眺望を確保し、
明るさや色をキープ

紫外線99%カット

窓際の置物などを変色・劣化から
守り、害虫を寄せつけない

施工実績・採用理由

採用理由1

フィルムと比較して

フィルムタイプを採用された方が、3～5年で部分的な剥離(膨れ)がおきて見た目も汚くなったため、ガラス面に化学結合し長期の接着が期待できるUI-シールドαを検討するケースが増えています。



東京消防庁大手町本庁舎

採用理由2

メンテナンスフリー

UI-シールドαは硬化するとガラスに近い強靱な塗膜になります。通常の作業では傷が付きにくく、スキージーでの清掃も可能です。



東京医科歯科大学

採用理由3

窓からの景観を損ないません

UI-シールドαは可視光透過率が約80%あり、ホテルや飲食店など窓からの景観を重視する建物に最適です。



東京国際空港(羽田空港)

～省エネ法改正に伴う効果的な対策法について～

平成22年5月28日(金)開催

省エネ法改正対策セミナー 「省エネの進め方と効果的な取り組み事例」

わが国は平成21年9月の国連気候変動サミットで「2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減する」ことを公約しました。一方、改正省エネ法では平成21年度はエネルギー消費を1年間計測し国に報告することとし、大規模にCO₂を排出している事業者は、3年間の法定定期報告制度の中で積極的な省エネ対策が義務化されています。そこで、省エネルギーに向けた効果的な取り組み方や対策について提案するセミナーを開催し、お客さまへの情報提供を行いたいと思います。



開催日時 平成22年5月28日(金)14:30～16:30(開場14:00)

開催場所 東京都立産業貿易センター浜松町館(第1・2会議室)

内容 1部 講演

講演 1	財団法人 省エネルギーセンター 国民生活活動部 省エネ人材育成グループ 大國 浩太郎 氏 テーマ: 改正省エネ法について(概要と背景) 講師プロフィール 大國 浩太郎(おおくに こうたろう) 2004年より財団法人省エネルギーセンター勤務。調査部門において省エネ型機器の調査・普及に従事。2008年より教育部(現「省エネ人材育成グループ」)にて、エネルギー管理士や国内クレジット審査員養成のための講座の企画・運営と共に、次世代サービスステーション(ガソリンスタンド)向け人材育成講座や改正省エネ法に関する講座の講師として各地で講演。工学博士(エネルギー理工学専攻)。	【財団法人省エネルギーセンター・概要】 通商産業省(現在の経済産業省)の外郭団体として、昭和53年に設立。我が国における省エネルギー推進の中核機関として、産業・業務・民生・運輸等各部門にわたる、省エネルギーに関する調査、診断指導、普及啓発、情報提供、人材育成等の活動を行っています。政府と民間企業や地方公共団体等との橋渡しとしての役割を果たしつつ、『省エネのナショナルセンター』としての役割を担うべく、実効性が高く、かつ時代に即応した省エネ対策に重点を置いた事業展開を進めています。
	講演 2 NPO 地球環境融合センター 省エネコンサルタント 徳田 和男 氏 テーマ: 改正省エネ法への効果的な対策方法の実例 地球温暖化防止のための新エネルギー、省エネルギーシステムの開発、推進および地域ぐるみの健康、福祉、防災対策の分野で調査、研究、普及活動を展開し、以て地球環境の融合、共生による社会の発展に寄与することを目的とするNPO法人に属し、省エネルギー実現に向けた診断および設計を行い、国内クレジット支援事業を推進しています。	

2部 プレゼンテーション

株式会社 ダイフレックス

テーマ: **窓から省エネ UI-シールドαのご紹介**

体感コーナー

UI-シールドαの性能を、実際のサンプルに触れて体感していただけます。
・温度測定サンプル ・工法紹介VTR

募集定員 60名(参加無料)

申込方法 同封のFAX送信票に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

東京都立産業貿易センター浜松町館
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8
TEL:03-3434-4242
http://www.sanbo.metro.tokyo.jp

JR「浜松町駅」(北口)より 徒歩5分
東京モノレール「浜松町駅」(北口)より 徒歩5分
ゆりかもめ「竹芝駅」より 徒歩2分
都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門駅」より 徒歩8分

